

# 市民建産常任委員会報告書

令和4年2月21日

委員長 古賀 誠視

市民建産常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際し、令和4年1月27日、1月28日に関係部課長等の出席を求め委員会を開催いたしました。

## 建設産業部

### 上下水道課

総務・上水道管理係から、市民討議会の報告、上下水道事業経営等審議会の書面会議開催の報告がありました。

上水道係、下水道係から、令和3年度の工事箇所の報告がありました。

委員から、市民討議会の結果として、市民の水道に対する考え方、料金や浄水場、水源の確保、防災に関する問題など幾つか取り上げてあるが、これら市民の意見をどう活用していくのか、との問いに、今後の浄水場の在り方そのものに反映させていく。今回の無作為抽出の討議会で、市の情報発信と市民の思いがすれ違っている事が明らかになり、次年度も上下水道課に限らず、このような会議を進めていくことで、市民の意見を踏まえた行政運営ができるものと思っているとのこと。

### 農林振興課

農林振興係から、農家直売！軽トラ市の報告がありました。ひびきの里の営業終了について、令和3年11月に福祉課宛てに、ひびきの里の事業運営返還の通知があり、これにより営業終了の意思表示がなされ、3月20日前後が最後の営業日予定との報告がありました。

農政係から、農業委員会運営事務（荒廃農地関連）の報告がありました。古賀市クラウドファンディング型新規就農者チャレンジ支援事業では、博多自然薯プロジェクトが目標金額100万円に対して寄附金額46万9,000円、女性農業者チャレンジ支援事業では、ドライフラワー再生事業が目標金額100万円に対し寄附金額は102万2,000円集まったとの報告がありました。

農林土木係から、農業用施設改良事業の報告がありました。ため池ハザードマップ作成業務委託について、昨年12月にワークショップを開催し、今回は、今回のワークショップで話し合った内容をもとに作成した図面を確認してもらう予定との報告がありました。

委員から、ひびきの里の営業終了は、新型コロナの影響による売上の低下が原因なのか、また障がい者の雇用を実施されていたと思うが雇用先など確保出来ているのか、との問いに、新型コロナの影響を含め、運営主体である法人福岡コロニーの将来的な事業の構想の中で、ひびきの里を閉めると判断されたとのこと。また現在就労されている方は、今後はなのみ工芸で就労されるとのこと。

博多自然薯プロジェクトの今後の運営や需要は、との問いに、現在500本程度を試行的に生産し、個人販売や市外の飲食店等に出荷されており、全て買い手がついていることから、今後も需要は高いと考えているとのこと。

## 商工政策課

**商業観光係**から、消費生活センター、まつり古賀、なの花祭り、福岡・筑前玄海地域オンラインツアーの報告がありました。JR古賀駅西口エリア活性化プロジェクトについては、現在法人化に向け手続中で、正式に立ち上がった際は、これまで意見交換会に参加していただいた関係者の方々にお披露目予定との報告がありました。

**事業者支援係**から、無料職業紹介所、新型コロナウイルス感染拡大防止補助金の報告がありました。ふるさと応援寄附について、令和3年度は令和2年度と比較して2億2,000万円程度減少となっており、詳しい原因については調査中であるが、あまおうへの寄附の減額と認識しているとの報告がありました。

**委員**から、JR古賀駅西口エリア活性化プロジェクトに関するまちづくり団体の今後の具体的な活動は、との問いに、今後の活動については拠点を持ち、収益事業を行っていただく。公的な部分としては、西口エリアのにぎわいの活性化に取り組んでいただき、創業や開業する場合の支援などを市に代わってやっていただく。拠点については選定作業中とのこと。

ふるさと応援寄附が令和3年度12月時点と令和2年度の比較で、1位のあまおうの件数が極端に減っているが、との問いに、今年度は他の市町村であまおうの取扱いが多くなり、本市は280グラムを4パック1万円を出しているが、県南の一部の市町村では280グラムを6パック1万円を出しており、そちらに流れていることが原因と受け止めているとのこと。

## 都市整備課・古賀駅周辺開発推進室

**都市計画係**から、大内田地区地区計画について、流通系、工業系の企業を誘致するために土地利用の転換を図るもので、1月25日から2月7日まで地区計画案の縦覧を都市整備課で行っているとの報告がありました。

**開発指導係**から、古賀市空き家等対策計画の改定について、平成29年からの5か年の計画が終期を迎え、特措法の指針等の改正や、これまでの取組を踏まえて計画を見直すものとの報告がありました。

**公園・緑地係**から、入札案件の報告がありました。

**古賀駅周辺開発推進室開発推進係**から、JR古賀駅東口周辺整備の進捗状況について、今後行政が整備していく公共施設、公園、道路、駅前広場などに関する基本方針や整備計画を検討し、JR古賀駅東口周辺整備基本計画を策定した。地元説明会の開催について、12月に古賀東区の住民向けに説明会を実施し、参加者は47名との報告がありました。

**委員**から、古賀市の空き家の状況、また古賀市空き家等対策計画の基本的な考え方は、との問いに、住宅土地統計調査、空き家実態調査、空き家抽出調査のいずれの調査でも増加傾向とのこと。また基本的な考え方としては、空き家の持ち主に不動産活用の周知・広報などを行い、不動産流通に力を入れることで、市の空き家対策は進むと考えているとのこと。

JR古賀駅周辺の人口について、東口では高齢者の割合が高く、変化の仕方も西口と東口とは随分違うが、市はどのような方向性を持って進めていく考えか、との問いに、今後人口減少社会を迎え、まちづくり基本計画の中で、古賀市は近隣市町と比較して生産年齢人口が少なくなっていく割合が高く、市としては生産年齢人口の流入など市外からの受入れを考えており、東口の開発によって、人口を集約していきたいと考えている。西口のまちづくりについては、今後検討していきたいとのこと。

## 建設課

土木係から、主要な事業の進捗、西鉄宮地岳線跡地の報告がありました。

管理係から、県事業工事の報告がありました。

地籍調査係から、地籍調査事業の進捗の報告がありました。

その他として、浜大塚線開通記念式典の開催について、3月12日土曜日に予定しているとの報告がありました。

委員から、後牟田大池線の道路改良工事が行われているが、令和4年度ですべて完了と考えていいのか、との問いに、後牟田大池線は順調に進めば、令和4年度で完成する予定だが、補助金次第では延びる可能性もあるとのこと。

花鶴川河口の護岸が崩れているが補修は、との問いに、県土整備事務所に早急に取り組んでいただくように要望したいとのこと。

## 市民部

### 環境課

環境整備係から、令和3年度版古賀市環境報告書、飼い主のいない猫に関する取組、地球温暖化対策・環境負荷低減意識向上に関する取組の報告がありました。

資源循環推進係から、分別収集困りごと講座、レジ袋アンケート結果、大根川一斉清掃の報告がありました。

海津木苑から、海津木苑処理状況、海津木苑施設等啓発、汚泥再生処理センター整備事業の報告がありました。

委員から、『2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ』の実質ゼロの定義は、との問いに、あらゆる事業者、家庭から排出される二酸化炭素、温室効果ガスについて、森林が吸収する二酸化炭素等を差し引きしてゼロということで、排出自体がゼロになることはないが実質ゼロをめざす取組とのこと。

古賀市の取組としてゼロカーボンシティ宣言に基づいて温暖化対策行動計画を改訂するということだが、改訂時期はいつ頃か、との問いに、2次の計画が令和5年度までで、6年度からの3次計画に向けて、4年度・5年度の2年間で改訂作業を進めたいと考えているとのこと。

議会からの提言を受けて、古賀市の今後の具体的な取組は、との問いに、古賀市地球温暖化対策等委員会などで共通認識を図り、内部で精査し、実行に移せるように進めたいとのこと。

### 市民国保課

市民係から、人口、外国人国籍別人口、個人番号カード交付枚数、コンビニ交付サービス利用実績、令和4年3月・4月の休日開庁予定の報告がありました。住民票の電話・インターネット予約の廃止について、夜間や休日の住民票受け取り予約は令和4年5月末をもって終了し、今後はマイナンバーカードを利用したコンビニ交付や郵便請求を利用させていただくとの報告がありました。

国保係から、国民健康保険加入者世帯数、高額療養費支給申請手続きの簡素化の報告がありました。

年金・医療係から、各種制度対象者集計表、公費医療の被用者保険にかかる審査支払委託先の変更、高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業の報告がありました。

委員から、住民票の電話・インターネット予約の廃止の理由は、との問いに、マイナンバーカ

ードを使ったコンビニ交付により、利便性が高まっていることから廃止するとのこと。

マイナンバーカードの交付率が40.7%で、健康保険証として使えるなどの各種機能を含め、今後の計画は、との問いに、国のマイナポイント第2弾が始まり、継続して交付率が伸びていくと期待している。またマイナンバーカードの健康保険証としての利用についても、利用申込みによってポイントが付与されるため、こちらも進んでいくと思われるとのこと。

## 人権センター

**人権教育・啓発係**から、人権教育・啓発事業としてのいのち輝くまち☆こが2021、古賀市人権施策基本指針（案）、まちづくり出前講座、人権相談事業として人権擁護委員活動支援、人権センター職員対応件数、人権関係団体活動推進事業として古賀市社会「同和」教育推進協議会委託事業の報告がありました。

**男女共同参画・多様性推進係**から、女性の活躍推進支援事業として女性のための再就職応援セミナー、性的マイノリティ支援事業として性的マイノリティ交流会、第3次古賀市男女共同参画計画（案）について報告がありました。

**委員**から、4月から福岡県がパートナーシップ宣誓制度を導入するが、古賀市のパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度との関連は、との問いに、市民へのメリット、デメリットも含めて精査していくことが必要になるが、古賀市に住んでいる方は古賀市に相談するのが一番身近なものと考えており、県や導入している自治体と話し合いを進めていきたいとのこと。

## 収納管理課

**収納管理係**から、令和3年度市税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料収納状況（令和3年12月31日現在）、令和3年度滞納処分状況の報告がありました。

**委員**から、収納状況について、新型コロナの影響はあるのか、との問いに、収納状況や収納率を見る限り変わっていないが、国民健康保険税等の減免もあり、収納額は下がっていると考えており、多少は影響があるとのこと。

## 市税課

**市民税係**から、税の申告について、古賀市役所での確定申告会場は2月16日（水）から3月11日（金）まで開設する。申告については、広報2月号及び市ホームページ、市税課前にポスター等を掲示し、周知を行っているとの報告がありました。

**委員**から、市役所の確定申告会場に来られる方が非常に多いが、どんな感染症対策を考えているのか、との問いに、会場の混雑緩和を目的として、年金所得の方は事前予約制としている。事前予約を必要としない自書申告コーナー利用の方は通常通りの体制で行うが、換気、消毒、検温等の感染症対策を徹底する。また国税庁が推進している自宅等で自分のスマホやパソコンを使って申告をするe-Taxが浸透しており、市としても推進していきたいとのこと。

以上、市民建産常任委員会の議会閉会中の所管事務調査の概要報告を終わります。